

秋田県内のエスロハイパーJW 200 の施工現場を訪問しました

現地では、雪が降るような悪条件の中でも、様々な工夫をして頂くことにより、順調に配管工事が進んでいます。

施工現場の状況

12月に入り、現地では雪が降ることが多くなってきました。道路端や資材置き場には、前日までに降った雪が残っています。



陸継ぎ、長尺管による施工

現地では、陸継ぎを利用した長尺管による施工が実施されていました。掘削溝内での融着作業を減らすことにより、施工性が向上します。また、山道に沿って生曲げ配管を行う場合にも有効でした。



改良型エスロハイパーJW 200 EF ソケット

改良型の 200EF ソケットを採用しました。融着部分を分割することにより、融着時の使用電力を省力化。小型の EF コントローラで融着ができるほか、汎用型の発電機、延長コードが使用できます。



雨天、降雪時の対策

雨天時、降雪時の施工では、簡易テントを使用して融着部の水濡れを防いでいます。また突然の雨には、シート等を使用して対応しました。



水場での施工事例

EF 接合部分の水濡れは、厳禁!

掘削溝内に雨水が溜まっている場合や湧き水がある場合には、管端を土嚢で持ち上げた後、接合箇所の水をポンプで汲み出して、施工しました。

